

「福井市行財政改革指針（令和9～13年度）」の策定について

1 策定の考え方

- 複雑多様化する行政課題に迅速に対応するため、これまで以上に効率的、効果的な行財政改革に取り組む。
- 第九次福井市総合計画を着実に推進するため、総合計画の計画期間と合わせて策定する。

2 策定方針

(1) 今後の課題

- 北陸新幹線福井開業効果の維持・広域化等に伴う行政需要への対応
- 少子高齢化・人口減少社会に立ち向かう、持続可能な活力あるまちづくり
- 持続可能な行財政運営

(2) 今後の行財政改革の方向性

市民サービス向上に向けてチャレンジする行政運営

総合計画に掲げる将来都市像「^{イジト}彩り豊かな想いがやく、未来ひらくまち。ふくい～さあ、楽しもう！チャレンジする毎日を！～」の実現を目指し、行政課題に迅速かつ弾力的に対応できる組織づくりと人材育成、市民サービスのさらなる向上、持続可能な行財政運営に取り組み、「市民サービス向上に向けてチャレンジする行政運営」を進める。

(3) 策定の際のポイント

「人材の活躍」や「デジタル技術の活用」、「共創」等を念頭に、これまで以上に市民等の意見を取り入れながら「創造的思考」で策定する。

創造的思考・・・既成概念に捉われず、物事の本質を見極めようとする思考法。
柔軟性や発想の豊かさ、好奇心、チャレンジ精神等の要素で構成される思考法

(4) 取組期間

5年間（令和9～13年度）

(5) 推進体制

市長を本部長とする行政改革推進本部と、民間委員で構成する行政改革推進委員会により推進を図る。

(6) 取組状況の公表

ホームページにて公表

(7) 推進の体系図

【今後の行財政改革の方向性】

市民サービス向上に向けてチャレンジする行政運営

① 行政課題に迅速かつ弾力的に対応できる組織づくりと人材育成

【取組例】

- ・職員のチャレンジ意欲に応える取組の推進など、人材育成や組織の活性化
- ・AI（人工知能）などデジタル技術を活用した業務のDX化の促進
- ・働きやすくやりがいのある職場環境づくりによる職員のウェルビーイング向上 等

② 市民サービスのさらなる向上

【取組例】

- ・デジタル技術の活用による、行政手続き及び会議のオンライン化の加速
- ・「行かない」窓口の推進
- ・窓口サービスにおける「書かない」窓口の環境整備
- ・庁内外の取組を「見える化」し、多様な広報媒体で「伝わる」広報を実現 等

③ 持続可能な行財政運営

【取組例】

- ・収支均衡した健全で持続可能な財政運営の推進
- ・官民連携の推進
- ・ふるさと納税による自主財源確保の強化
- ・市民ニーズや人口動態をふまえた施設マネジメントの推進 等

3 スケジュール

- | | |
|--------|---|
| 令和8年5月 | ・第1回 行政改革推進本部会議【策定方針】
・「取組事項」に係る全庁照会（6月10日締切）
・電子申請フォームを活用した市民や職員からの意見募集（5月末締切）
*所属内で意見交換（若手職員からも意見聴取等）を実施 |
| 5月末 | ・ 第1回 行政改革推進委員会（「取組事項など」に係る意見聴取） |
| 6～10月 | ・行政改革推進本部幹事会
・ 第2回 行政改革推進委員会（「素案」に係る意見聴取）
・第2回 行政改革推進本部会議【（素案）確定】 |
| 12月中旬 | ・（素案）についてパブリックコメントの実施 |
| 9年1月 | ・第3回 行政改革推進本部会議【指針決定】 |
| 2月 | ・議員全員協議会において説明 |